

銚子ダム



ライトアップした銚子ダム

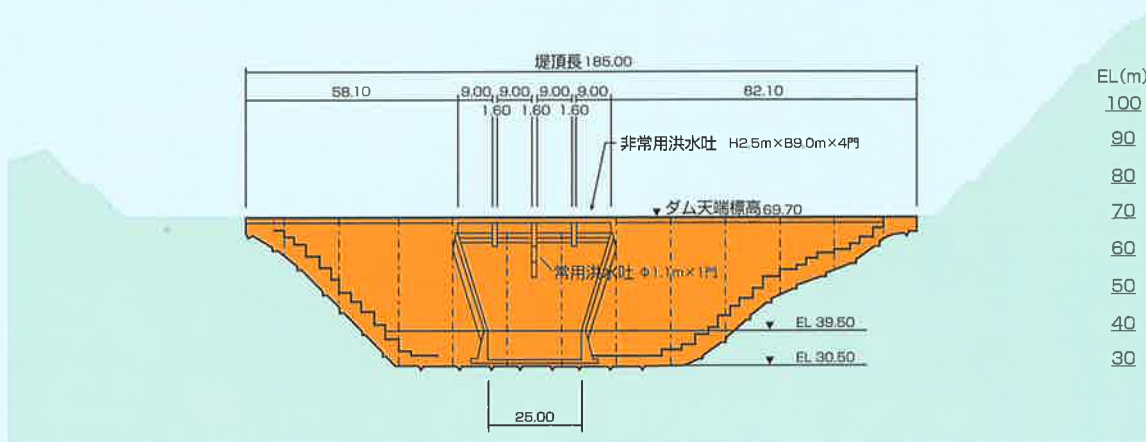


島根県隠岐支庁県土整備局

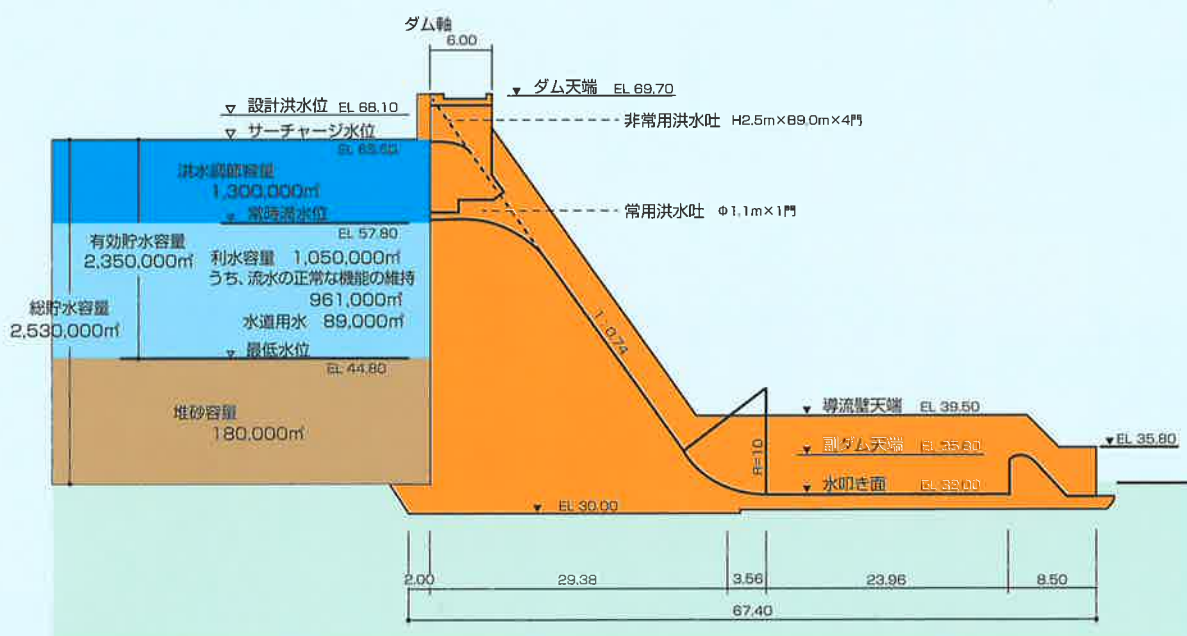
隠岐郡隠岐の島町港町塩口24 TEL08512-2-9752<銚子ダム担当>

銚子ダムの規模

■ 銚子ダム下流断面図



■ 銚子ダム越流部標準断面図



■ 銚子ダムの諸元

形 式	重力式コンクリートダム
堤 高	39.70m
堤 頂 高	185.00m
集 水 面 積	7.8km ²
溢 水 面 積	0.20km ²

総 貯 水 容 量	2,530千m ³
ダム設計洪水流量	290m ³ /s
計画洪水流量	95m ³ /s
計画放流量	6m ³ /s (最大9m ³ /s)

周辺

水と緑の憩いの場

鈿子ダムの周辺には、ダム管理所(展示室)だけではなく、ベンチや東屋のある公園が点在しています。

ダム湖の名称は「伊賀湖」といいます。ダムの地元である隠岐の島町原田地区の開祖とも言われる若林伊賀守にちなんで、平成3年に決められました。



県道中村津戸港線添広場



鈿子ダム大橋右岸広場



鈿子ダム管理所 (展示室)



鈿子ダム大橋左岸広場



ダム堤体左岸広場



概要

洪水被害の低減



平成17年9月撮影

銚子ダムのある隠岐島後は平野部が少なく、600m級の山々が海岸にせまる急峻な地形的条件のため、島後最大の河川、八尾川が氾濫を繰り返し、旧西郷町（現隠岐の島町）市街地はたびたび洪水の被害を受けてきました。

このため、島根県は旧西郷町並びに地権者の方々の協力を得て、昭和45年度に予備調査に入り、ここ八尾川水系の一つである銚子川に下流域の治水及び旧西郷町への水道水の確保を目的としてダムの建設を計画、平成2年度から工事に着手し、総工費171億円を費やして平成12年3月に完成しました。

完成後もたびたび大雨に見舞われていますが、銚子ダムは洪水調節効果を発揮し、洪水被害の低減に貢献しています。

銚子ダムの位置

日本海に浮かぶ島根県隠岐諸島・島後の八尾川水系支川の銚子川上流にあり、島の玄関口である西郷港から国道485号を經由し、中村地区方面に向けた県道中村津戸港線沿いです（島根県隠岐郡隠岐の島町原田）。



役割 暮らしを支える3つのキーワード

1 洪水調節

大雨が降ったとき、銚子ダムの放流量を調節することによって、八尾川沿川地域の災害を防止します。

ダム完成以前



平成5年、台風13号時の下流域の様子

ダム完成以降



平成18年、梅雨前線豪雨時の下流域の様子

2 美しい川を守る

銚子ダムからの安定した水の供給によって、干ばつから河川環境を守ると共に、農業用水等の安定化を図ります。

平成6年
渇水時(ダムなし)



平成17年
(ダムあり)



3 水道用水

銚子ダムによって、隠岐の島町(旧西郷町)では1日最大1,620m³の取水が可能となり、安定した水道用水が確保されます。



自衛隊による水運搬支援



給水車による水くみ



八尾川と銚子川の合流点

管理設備

24時間の監視管理システム



ダムコンピュータ

ダム管理に必要な河川の水位や雨量と言ったデータの収集や記録を常時行っています。また、ダムの状況を表示・記録することができます。



ITV装置

ダムの上流・下流の両側からカメラによって常時ダムを監視しています。カメラの映像は、銚子ダム管理所と隠岐支庁県土整備局で見ることができるようになっています。



放流警報設備

ダム下流の河川で急激な水位上昇(の恐れ)がある場合に、下流の人々に放送とサイレンで注意を促すこととしています。この設備に加え、警報車による巡回も行います。



総合気象観測装置(左)

銚子ダム管理所における風向、風速、気温、湿度、水温、漏水量、気圧といった情報を収集・記録して、ダム管理に役立てています。

地震計(右)

銚子ダムで地震が起こった際には、3箇所に設置された地震計で感知することとなっています。地震計は、ダム管理所の地下やダム堤体内(天端、底部)に設置されています。